令和８年度 第１回 銚子市国民健康保険事業の運営に関する協議会　会議録

１　日　　時　令和８年８月２０日（木）　午後１時３０分～午後２時１５分

２　場　　所　銚子市役所３階　庁議室

３　出席者

⑴　委　員

坂尾 清志委員、田村 好美委員、柏熊 聖子委員、宇澤 園子委員、
兒玉 晃昌委員、間山 春樹委員、髙橋 宏資委員、浪川 秀樹委員、
佐野 久子委員、野口 光男委員、齋藤 隆広委員、石毛 雅人委員

⑵　事務局

飯森市民課長、額賀保険年金室長、網中主査、白土主査、堀籠主事

４　傍聴者　なし

５　会議次第

⑴　開会

⑵　議題

議題１　令和７年度　銚子市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて

議事２　その他

⑶　閉会

６　議事

議題１　「令和７年度　銚子市国民健康保険事業特別会計決算見込みについて」

事務局	資料１、資料２に基づき説明
委員	保険料の上限額（賦課限度額）の引き上げと、加入者の所得増加により、当初の予算を大きく上回る収入となった。半年前の保険料率の引き上げ説明の際に示された予算額よりも、実際にはかなり多く入ってきたという印象である。 事務報告書を見ると収納率向上の背景に着手件数の大幅増加があり、早期対応の努力が数字に表れている。滞納者の財産は時間が経つほど減ってしまうため、素早い対応が重要である。
委員	６ページの国保加入率（25.3%）について、社会保険に加入していない方で、国保にも加入していない方（無保険の方）はどのくらいいるのか。
事務局	国保は、社会保険や後期高齢者医療に入れない方の「最後の受け皿」である。そのため、国保に加入していない方が社会保険に入

	っているのか、それとも無保険なのかは、国保の担当部署では把握できない。
委員	銚子市に住んでいる人の数は分かっているはずである。社会保険・国保・後期高齢者医療のそれぞれの加入者数が分かれば、残りが無保険者ということにならないか。
事務局	社会保険の加入情報は、市では把握する手段がないため、残りが無保険かどうかも分からない。
委員	加入率が低いということで終わらせず、無保険の方に対して「こういう制度がある」と案内するような取り組みはしていないのか。
事務局	医療機関から「無保険で受診した方がいた」という情報が定期的に届くため、そういった方には国保加入の勧奨通知を送付している。ただし、その方が社会保険・国保・生活保護のどれに該当するかは、全部は把握できない。
委員	6 ページの国保加入率は、住民全体を分母にしたものという理解でよいか。
事務局	そのとおりである。国保加入率が下がっている背景には、社会保険の加入要件が拡大されていることがあり、残りの方は社会保険への移行が進んでいるものと認識している。
委員	9 ページの令和 8 年度予算の歳入にある「保険者努力支援分交付金」が、令和 7 年度より約 790 万円減少している。健康づくりへの取り組みに応じてポイントが付与され、国から交付されるものだと思うが、なぜ減額となったのか。
事務局	この交付金は、県内の市町村がそれぞれ獲得したポイントに応じて配分される仕組みである。銚子市だけの努力では決まらず、他の市町村のポイントが高ければ、銚子市への配分は相対的に減る。
委員	民生委員活動など地域の横のつながりを活かして、ポイントを取れる取り組みができるのではないか。健康づくり課や地域の各種団体と連携することで、他市より多くポイントを獲得できる可能性がある。協力できる部分があるので、ぜひ連携を強化してほしい。
議長	収納率が上がっていることは評価できるが、現在の数字は「金額ベース」での集計である。高所得の方が保険料をきちんと納めれば、それだけで収納率の数字が上がる。大切なのは、「何年も滞納し続けている世帯がどのくらいあるか」「滞納が初めての世帯か、継続的な世帯か」といった世帯ベース・被保険者数ベースの実態である。金額ベースの収納率だけでは、滞納の実態が見えにくい。次回以降、可能な範囲で世帯ベースの滞納状況データを示していただきたい。
事務局	世帯ベースでの集計は難しい面もある。
議長	たとえば 3 年間継続して滞納している世帯が何件あるか、といった形でも結構である。金額だけでは実態が把握しにくいため、流

	れが見える資料が必要だと思う。
事務局	事務局としても、取り組みを進めるうえで必要な情報でもある。可能な範囲で次回お示しできるよう準備したい。
委員	5 ページの令和 7 年度決算額の療養給付費が令和 6 年度決算額と比べて約 1 億 9,500 万円減少している。主な要因は何か。
事務局	後期高齢者への移行や社会保険の適用拡大により被保険者数が減少していることが主な要因である。1 人あたりの給付費（銚子市は約 35 万円）は横ばいのため、人数が減った分だけ療養給付費も減っている。
委員	9 ページの令和 8 年度予算では少し増額しているようだが。
事務局	診療報酬の改定により、1 人あたりの医療費が増加することを見込んで増額計上している。

議題２　その他

事務局	(1)千葉県における保険料水準の統一について、(2)国民健康保険健康づくりセミナーについて説明
委員	チラシは町内会等にも配布するのか。
事務局	今回は町内会への配布は予定していない。対象が国保加入者（40～74 歳）に限定されているため、医療機関や健康づくり課のイベントでの配布を予定している。
委員	開催日が火曜日の午前中ということで、40～60 歳の働いている方は参加しにくいと思う。土曜日や祝日の開催は検討しなかったのか。
事務局	特定健診のデータを見ると、土日よりも月曜・火曜の方が参加率が高いという実績がある。また、これまで土曜日開催にしていた際は定員 50 名に対して 30 名程度の参加にとどまることが多かったため、今回はヤマサ醤油との協賛を機に、平日開催を試みることにした。
委員	参加者の年齢層をアンケートで把握しておくと、今後の企画改善に役立つ。60～74 歳が多く 40～60 代が少ないといった傾向が見えてくれば、次回以降の開催方法の改善につながる。また、ウェブ申し込みで社会保険加入者が誤って申し込んでしまう可能性はないか。
事務局	申し込み自体はできてしまう可能性があるため、社会保険加入者には個別に連絡してお断りする対応をとる。申し込み時に保険証の記号番号を記入いただくなどの対応も検討する。
委員	対象外の方にもチラシが届く可能性があるため、その点は少し工夫が必要かもしれない。
委員	健康づくり課と連携して開催できると、より幅広い方に参加いただけるのではないか。

議長	国保加入者に限定するのではなく、市民全体に開放することも考えられる。 保険料水準の統一について、令和15年度の県内保険料統一まで残り約7年と時間が短いが、しっかり準備を進めていただきたい。

令和 8 年 9 月 24 日

会　長　野口光男

署名委員　兒玉晃昌

署名委員　田村好美